

フロンティアスクール中間報告書

都道府県名	新潟県
-------	-----

学校の概要(平成 15 年 4 月現在)

学校名	六日町立六日町小学校								
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	2	3	1	18	26
児童数	82	90	95	83	74	91	4	519	

研究の概要

1 研究主題

<p>自ら伸びようと意欲を持続して学ぶ子どもの育成 ～算数科で確かな力を付ける少人数指導のあり方～</p>
---

2 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

1 年～6 年算数科(子どもの理解に差が大きく、多様な考え方が表れやすい教科であるため)
--

(2) 年次ごとの計画

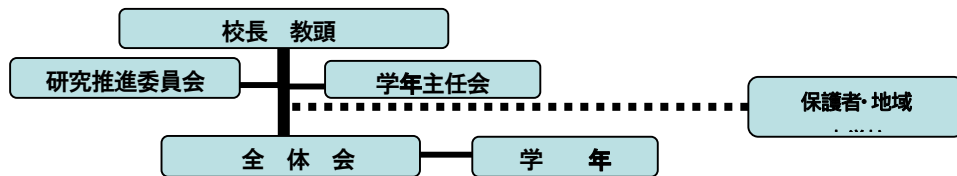
平成 14 年度	<p>テーマ 自ら働きかけ、共に生きる子どもの育成 ～算数科で確かな力を付ける少人数指導のあり方～</p> <p>仮説 T T 指導や少人数指導を取り入れ、きめ細やかな指導と評価を通して、児童に達成感や成就感を感じさせれば、確かな力を付けることができる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導のために自作プリントや教材を作成する</li> <li>・学年の職員と加配教員がチームを組み、日常的な T T 指導や少人数指導を行う。</li> <li>・学習振り返りカードで自己評価をする。机間巡視で評価と指導を同時に行い、これらを座席表や名簿にメモし、次の指導に生かすなど、指導と評価の一体化を目指す。</li> <li>・基礎学力の向上のために、5 分以内でできる計算練習「計算ダッシュ」を継続して行う。</li> </ul>
----------	---

平成 15 年度	<p>テーマ 自ら伸びようと意欲を持続して学ぶ子どもの育成 ～算数科で確かな力を付ける少人数指導のあり方～</p> <p>仮説 評価を生かしながら興味関心を高める課題設定をし、多様な算数的活動を選択できるような授業を展開すれば、児童は学習意欲をもって自ら学び、確かな力を付けることができる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な算数的活動を支える教材を用意し、児童が自由に選択できる学習環境を整える。</li> <li>・学年の職員と加配教員がチームを組み、T T 指導や習熟度別、課題別編成による少人数指導を弾力的に行う。また学習ボランティアを活用する。</li> <li>・評価を、「課題設定」や「授業の展開」に生かし、児童一人一人が意欲的に学習したり、自己実現や達成感を感じたりすることができるように支援する。</li> <li>・学力テストの追跡分析を行い、基礎基本の力がつくように具体的な方策(計算ダッシュ、コンパスや分度器などの用具の使い方の復習)を講じながら、定期的に評価し合う。</li> </ul>
----------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 自ら伸びようと意欲を持続して学ぶ子どもの育成 ～算数科で確かな力を付ける指導のあり方～</p> <p>仮説 評価を生かしながら興味関心を高める課題提示をし、算数的活動を位置付けた授業を展開すれば、児童は学習意欲を持続しながら学び、確かな力を付けることができる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標や児童の実態から教材と提示方法を吟味し、算数的活動や思考が活発に行われるような授業を組織する。</li> <li>・自作教材プリントや町で作成した副読本を活用しながら、発展学習や補充学習を行う。</li> <li>・単元の目標や児童の実態に合わせて、T T 指導や習熟度別、課題別編成による少人数指導を弾力的に行う。また、学習ボランティアの活用を図る。</li> </ul>
----------	---

・評価を、「課題設定」や「授業の展開」に生かし、児童一人一人が意欲的に学習し、自己実現や達成感を感じるように支援する。また、個別指導に生かすようにする。

(3) 研究体制



平成 15 年度の研究の成果及び今後の課題

1 研究の成果

・NRT学力テストで、全校の偏差値平均が 53.6 で前年度比 1 ポイント上昇した。通過率も高い領域が多い。〔全国比領域別通過率 5 ポイント以上高い学年〕

全国比通過率	数と計算	量と測定	図形	数量関係
平成 14 年度	3,6 年	2,3,4,5 年	2,3,4,5,6 年	6 年
平成 15 年度	3,4 年	3,4,5 年	1,2,3,4,5 年	3,4 年

・少人数学習で力を入れた「量と測定」「図形」での成果が大きい。また、3 年生以上で低位の児童が少なくなった。今後も継続して研究実践を重ねていく。

2 今後の課題

- ・少人数指導や T T 指導は、職員の人数が増えた分、確実に成果が上がっている。短時間の打ち合わせで、効率をいかに上げるかが、今後の課題である。
- ・思考をさせる場面、習熟を図る場面をバランスよく組み合わせて、授業の仕方の改善を図る。
- ・さらに学習のねらいを明確にして、授業の展開の指導と評価の一体化を図る。

学力把握のための学校としての取組

- ・全国的な学力の位置を把握、学力の追跡調査するために、NRT の学力テスト 全学年対象 1 月 21 日実施
- ・校内算数テストの実施 (全学年対象 年 3 回)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・「第 1 回地域協議会及び学力向上フロンティアスクール研修会」 6 月 13 日 (木) 13:30 ~ 16:40 六日町小学校 郡内小中学校代表校長他 42 名 2 年次の取組の説明と公開授業を通してフロンティアスクールの取組を普及するため
- ・「学力向上フロンティアスクール 2 年次中間発表会」 11 月 11 日 (火) 13:30 ~ 16:40 六日町小学校 郡内小中学校教員、六日町小学校評議委員 約 100 名 公開授業と研究協議会
- ・『学力向上フロンティアスクール研修会』 1 月に 3 日【金】 :00 ~ :30 六日町小学校 県内小中学校教員 90 名 東京学芸大学教育学部附属世田谷小学校、黒澤俊二先生の示範授業、講話
- ・「第 2 回地域協議会」 2 月 17 日 (水) 15:00 ~ 16:30 六日町小学校 フロンティアスクール校 2 年次の取組報告、各町等の取組報告 郡内小中学校代表校長他 12 名
- ・学力向上フロンティアスクール 2 年次中間発表会で紀要、2 月末に研究のまとめを作成。郡内の小中学校、関係機関に配布。
- ・ホームページは 2 月末に更新の予定 (<http://academic1.plala.or.jp/rokusho/>)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- |                      |              |               |      |    |    |    |      |
|----------------------|--------------|---------------|------|----|----|----|------|
| 【新規校・継続校】            | 15 年度からの新規校  | * 14 年度からの新規校 |      |    |    |    |      |
| 【学校規模】               | 6 学級以下       | 7 ~ 12 学級     |      |    |    |    |      |
|                      | * 13 ~ 18 学級 | 19 ~ 24 学級    |      |    |    |    |      |
|                      | 24 学級以上      |               |      |    |    |    |      |
| 【指導体制】               | * 少人数指導      | * T . T による指導 |      |    |    |    |      |
|                      | * 一部教科担任制    | その他           |      |    |    |    |      |
| 【研究教科】               | 国語           | 社会            | * 算数 | 理科 | 生活 | 音楽 | 図画工作 |
|                      | 家庭           | 体育            | その他  |    |    |    |      |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 |              |               | * 有  |    | 無  |    |      |